

## 安全データシート (SDS)

### 1 製品及び会社情報

製品の名称	
製品名	モノタロウ ストレッチフィルム 15 ミクロン 500mm 幅
会社情報	
会社名	株式会社 MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階 商
担当者名	品お問い合わせ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX 番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M171024
推奨用途及び使用上の制限	一般工業用途

### 2 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない

#### GHS ラベル要素

絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない

#### 他の危険有害性

高温加熱状態や発火点以上の状態では燃焼する恐れがある。この場合、燃焼と分解が起こり、有害性ガスが発生する恐れがある。

#### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

該当しない

### 3 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

化学物質

## 組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
ポリエチレン	26221-73-8	6-1619	> 99.0

## 4 応急措置

### ばく露経路による応急措置

吸入した場合	万一高温状態の蒸気や煙霧を吸い込んだ場合は、速やかに被害者を安全な場所に移し、迅速に医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	特に必要ない。但し、高温状態の製品が付着した場合（火傷）は、速やかにその箇所を大量の冷水に浸して皮膚を冷やし、清潔な綿やガーゼで覆い医師の手当てを受ける。安易に皮膚に付着した熔融樹脂を取り除くと、皮膚を引裂き易いので注意する。
眼に入った場合	製品は通常では固体であり、目に入った場合は異物として取り除き、水で十分洗眼後、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに吐き出させる。

### 予想される急性症状

情報なし

### 遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

### 応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

### 医師に対する特別な注意事項

情報なし

## 5 火災時の措置

### 適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

### 使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

### 特有の危険有害性

酸素の不十分な状態では、一酸化炭素が煙霧と一緒に発生する恐れがある。

### 特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

### 環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集める等の掃除を行い、リサイクル用の容器や廃棄物用容器等へ回収する。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

水濡れ厳禁、直射日光を避ける。

ダンボールを傷める様な乱暴な扱い（落下させたり衝撃を加えたり、引きずるなど）をしない。

フィルムは重量物であるので、運搬時に腰を痛めたり落下により怪我をする恐れがあるので荷扱いに気をつける。

接触回避

水分、湿気、強酸化剤との接触厳禁。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

### 保管

技術的対策

横積厳禁、倒れるような積み方をしない。ラッピング時にフィルムが切れる恐れがあるので、フィルムの両端に傷を付けない。長期間の保管により、荷崩れ、あるいはフィルムの過剰粘着により、フィルム剥離不良を引き起こす場合があるので過大な積み重ねや長期間の保管は避ける。

混触禁止物質

高温の芳香族系溶媒、塩素系溶媒、強酸化剤等

保管条件

水濡れ、湿気、直射日光、火源を避け常温室内保管する。

容器包装材料

ダンボール箱に入れて保管する。

## 8 ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない。

### 許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV 設定されていない。  
日本産業衛生学会 設定されていない。

### 設備対策

製品の使用時、特別な警戒（保護措置）の必要はない。

### 保護具

呼吸用保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	透明フィルム
臭い	無臭
臭いの閾値	情報なし
pH	中性
融点・凝固点	115～130℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	350～400℃
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	約0.9
溶解度	不溶
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	400℃以上
分解温度	300℃以上
粘度	情報なし

## 10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	約120℃以上の高温
混触危険物質	強酸化剤等

危険有害な分解生成物

燃焼時、二酸化炭素、一酸化炭素、及び可燃性炭化水素を発生する。

---

## 11 有害性情報

---

### 製品の有害性情報

情報なし

---

## 12 環境影響情報

---

### 製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

---

## 13 廃棄上の注意

---

### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

### 汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14 輸送上の注意

---

### 国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

#### 国内規制

陸上規制情報	消防法に従う
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

#### 緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

#### 特別の安全対策：

水濡れ厳禁及び、荷崩れ防止措置を行う。ダンボールを傷める様な乱暴な扱い（落下させたり衝撃を加えたり、引きずるなど）をしない。

---

#### 15 適用法令

---

消防法	消防法 指定可燃物（合成樹脂類）
-----	------------------

---

#### 16 その他の情報

---

##### 参考文献

株式会社 MonotaRO 提供資料

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。